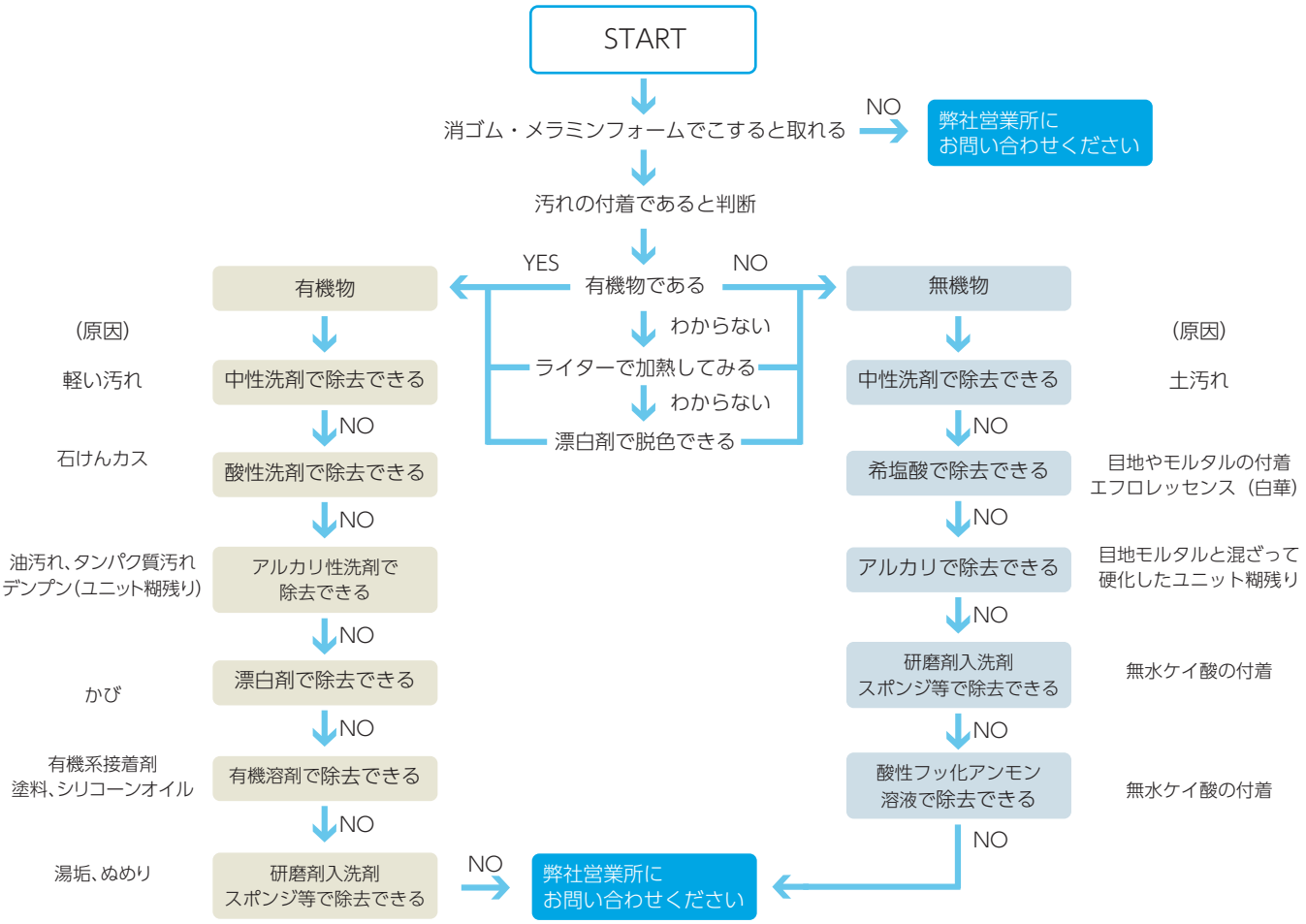
タイルのメンテナンス　フローチャート

タイルは様々な建材の中でも、もっとも防汚性に優れ、また汚れがついた場合でも容易に手入れでできる建材のひとつと言えます。しかしながら、経年のなかで大気中の排気ガスや煤煙、サッシ回りのシーリング材から溶け出す汚れ、モルタルやセメントの成分が主因となる白華汚れなど、汚れとして目立つ場合もあります。一般的な汚れの原因としてメンテナンス方法についてご案内いたします。
施工部位と付着した物質などでメンテナンス方法が変わってきます。たとえば外装タイルでは、ユニット糊や目地モルタル、セメント成分がタイルに付着、施工時の誤ったタイル面洗いにより汚れが発生する場合があります。経年的な汚れとしては、大気中の排気ガスによる汚れ、雨に含まれる成分による汚れ、またシーリングや雨掛かりによる汚れが発生します。また、内装タイルでは生活や使用に伴う有機物、例えば油やタンパク質の付着汚れ、浴室ではぬめり等が固着する汚れもあります。様々な汚れの洗浄は、付着した物質によって適切な洗浄方法を選定することが重要です。フローチャートの手順で判別し、汚れの種類にあった洗浄方法でメンテナンスを行いましょう。



注意　●洗浄はまず目立たないところで効果を確認した後行ってください。　●洗剤を使用する場合は、それぞれの取扱い説明書に従って正しく使用してください。また、必要に応じて保護具を着用してください。　●酸性フッ化アンモンは、劇薬であるため取扱いは専門業者にお任せください。　●塩酸または酸性洗剤と塩素系漂白剤を混ぜると、塩素ガスが発生する場合があります、同時に使用しないようご注意ください。　●塩酸や酸性洗剤を使用する場合は、金属製品が錆びることがありますので、金属製品にかからないよう注意してください。また、目地が酸で侵される場合がありますので、洗浄前に十分水浸しを行い、なるべく洗剤等がかからないよう注意してください。　●漂白剤や有機溶剤を使用する場合は、十分換気してください。　●洗浄後は、十分水洗いを行い、洗浄剤が残らないようにしてください。

タイルのメンテナンス　外装タイル

①大気中の汚れが雨スジ状に付着した汚れについて

埃、排気ガス、煤煙などの汚れが壁面に付着し、雨水の流れる箇所に集中してスジ状に残る汚れです。

メンテナンス方法

水洗いや拭き取りのみで除去できます。排気ガス等の油性成分を含む汚れの場合は、中性洗剤で洗い流します。

②シリコーンシーリング材の溶出による汚れ

サッシ回りなどのシリコーンシーリング材に含まれる低分子量成分が、雨水などによって周辺に溶出・拡散し、大気中の塵埃が付着した汚れです。

メンテナンス方法

中性洗剤を用いて、擦り洗いすることで除去できますが、再発する場合があります。